



平成27年6月25日

## 理工系で全国2位！ 環境理工学部が高い就職率をマーク

「週刊東洋経済」（東洋経済新報社、2015年5月27日号）に掲載された「本当に強い大学2015」の特集記事の中で、“大学浮沈のカギ握る就職”として2012年から2014年の3年間の累積就職率が紹介され、97.0%を達成した岡山大学環境理工学部が理工系学部の全国2位にランクインしました（資料1）。国立大学としては全国1位です。

これまで、2012年96.5%、2013年98.4%、2014年96.3%と世の中の景気動向に大きく左右されることなく高い就職率を維持しており、社会からの環境理工学部への期待とともに継続的に取り組んできた学部独自の学生支援の結実といえます（資料2）。

### <概要>

本学環境理工学部は、環境科学分野の知識を系統的に学び、問題解決能力を備えた人材の育成を行うことを目的とする学部として、1995年に一期生を迎えました。環境学は学際的で文理融合の学問であり、学部設置当初は卒業後のキャリアデザインの多岐・多様さに戸惑う学生が少なからず見受けられました。そこで、単なる就職支援に留まらず、入学時から段階的かつ長期継続的にキャリア形成支援を行うことが必要と考え、2006年に国立大学では初となる学部独自の試みとしてキャリアサポート室を開設（資料2）。教員とキャリア・コンサルティング技能士の資格（国家資格）を有する相談員を配置し、学部教員との連携をとりながら学生の就職や進路などについてきめ細かく支援を行うとともに、生活面などの悩み相談にも応じています。さらに、1、2年生対象のキャリア教育科目を担当するなど、学部の教育にも協力しています。また、学部の就職担当教員と連携しながら、就職支援および求人やインターンシップ情報の伝達などを行っています。

キャリアサポート室の設置後、就職率が90%程度に上昇し、2009年以降は95%以上と高い水準を維持しています（資料3）。民間では、土木、環境、化学、エネルギー、情報等、各分野におけるグローバル企業をはじめとして、環境問題の解決に取り組む多くの企業で卒業生が活躍しています。公的セクターでは、国交省や農水省等の中央省庁にここ数年学内では最も多く入省しています。また、都府県庁や市役所に毎年数十名が就職し、公務員就職者が多いのが特徴の一つです（資料3）。

現在、年間で延べ1000人を超える学生がキャリアサポート室を訪れており、この中には大学院生や他学部の学生も含まれています。また、卒業生からの転職相談などもあり、多様化した社会における生涯を通じたキャリア支援といえます。



## PRESS RELEASE

環境理工学部では、日本技術者教育認定機構（JABEE）の外部評価を受審するなど、カリキュラムの継続的な改善に取り組んできました。また、充実した実践型環境教育プログラムを提供することで、即戦力として活躍できる人材の育成に注力しているほか（資料2）、単に就職率の向上を目指すのではなく、卒業時無業者（進学も就職もしなかった者）を極力発生しないよう努めてきました（資料3）。このように、キャリアサポート室のみならず学部全体で、地道かつ継続的に学生支援活動に取り組んできた成果として、理工系学部で全国2位の高い就職率を達成することができたといえます。

### <補 足>

「週刊東洋経済」誌の就職率は、就職者数÷（卒業生数－大学院進学者数）で算出された値です。一般に、大学が公開する就職率は就職決定者数÷就職希望者数で、進路未定者は含みません。

### <お問い合わせ>

岡山大学環境理工学部

キャリアサポート室

（電話番号）086-251-8847

（FAX番号）086-251-8847